



# おきなわ 沖縄のごみについて考えよう!

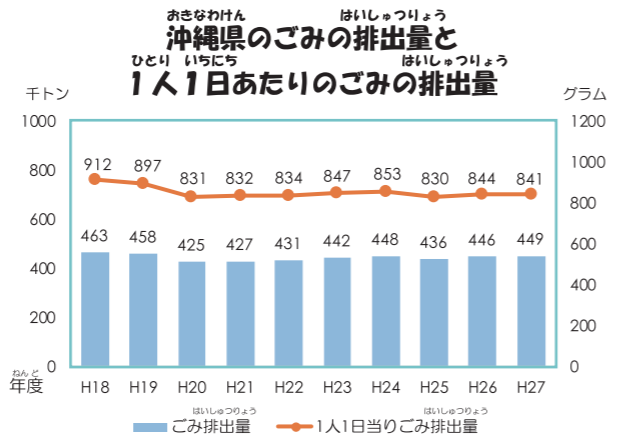


私たちは毎日、たくさんのものやエネルギーを使って生活しています。そして、たくさんのごみを出しています。ここでは、私たちの出すごみがどれぐらいの量になるか、どこへ行くのか、どんな問題があるかを考えてみましょう。

## 私たちが出すごみはどれくらいあるの?

沖縄県で、平成27年度に家庭や事業所から出たごみは、約45万トンでした。このごみを2トントラック(約5メートル)に積み込むと、22万5千台のトラックが必要になります。

また、1人が1日に約841gのごみを出していることとなります。私たちが出すごみの量は、10年前に比べると減っていますが、さらに減らす努力が必要です。



1人が1日に出すごみの量

およそ **841g**

1年間だと **306kg**

毎日毎日、すごい量のごみが処分されています!

参照：廃棄物対策の概要 (平成30年1月) 沖縄県環境部環境整備課

## 私たちの生活からどんなごみが出ているの?

私たちの生活から出るごみにどのようなものがどのぐらいの割合で入っているのか調べてみると、生ごみがいちばん多く、その次に紙、その他には、プラスチック、ガラス、金属が含まれています。



**3・4年生**

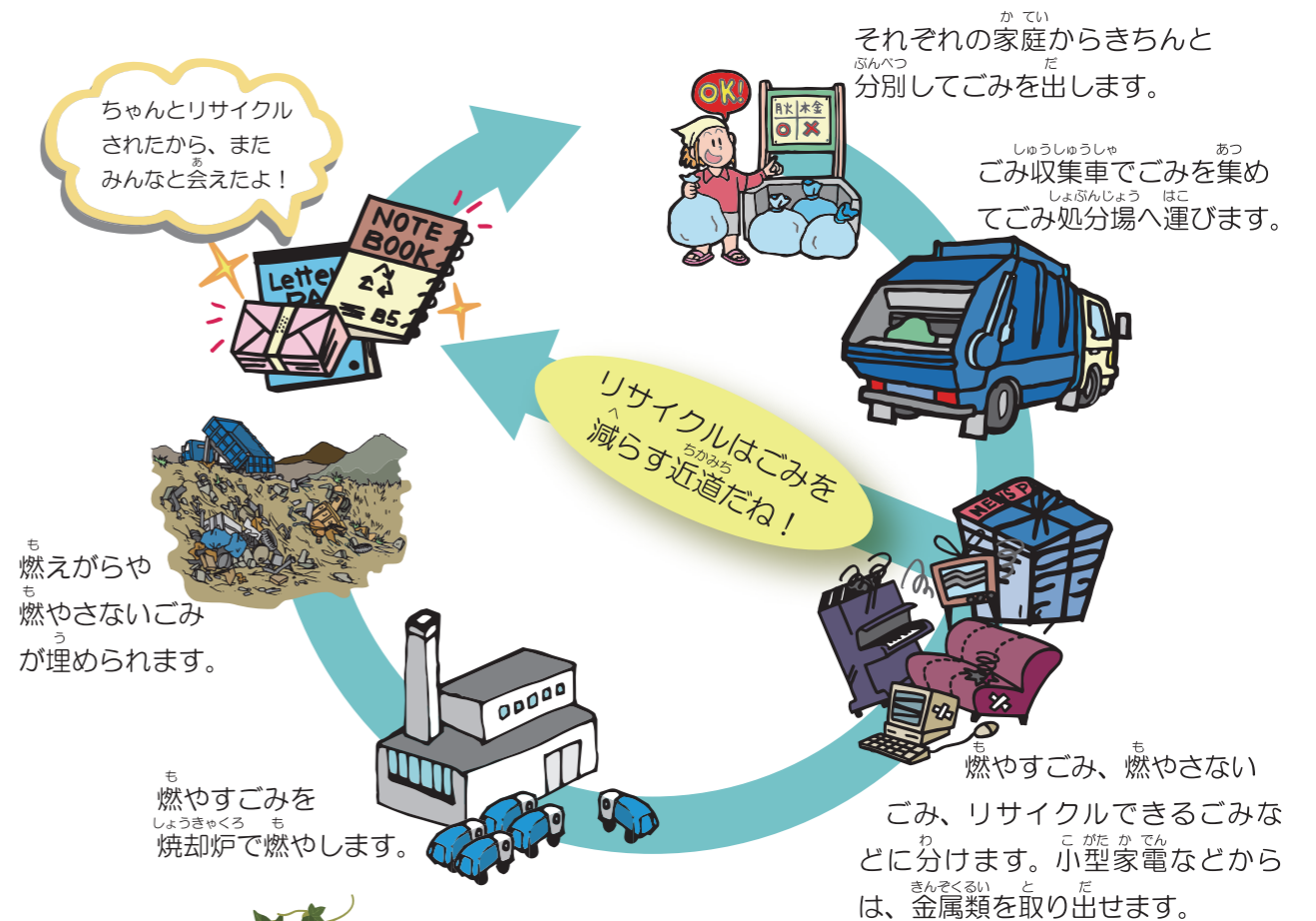
- 社会: ごみの処理と利用
- 図画工作: 身近な材料(空き容器・木切れなど)や場所などを基に発想してつくる造形遊び
- 道徳: 外国への関心
- 特別活動: 学校や学級の生活づくり

**5・6年生**

- 家庭: 調理の基礎(我が国の伝統的な日常食)/ものや金銭の使い方と買い物・環境に配慮した生活の工夫/衣服の着用と手入れ・快適な住まい方
- 社会: 公害と国民の健康・生活環境
- 特別活動: 学校や学級の生活づくり

## 私たちが出したごみはどこへいくの?

私たちの家から出たごみが、どこへ行くのか知っていますか?専用のトラックに積んで、各市町村のごみ処分場に行きます。そこで、燃やすごみと燃やさないごみ、くり返し使えるもの、材料として使えるものなどに分けます。それが毎日くり返されています。私たちは、ごみを処分する場所にも限りがあることも考えなければなりません。



## かがやくメダルはごみからできる!?



東京2020オリンピック大会では、使い終わった携帯電話などに含まれる金・銀・銅を取り出してメダルを作る「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」を実施しています。このプロジェクトで、金・銀・銅合わせて約5,000個のメダルを作ることになっています。スポーツとリサイクルをつなげたこの取り組みにも「金メダル」をあげたいですね!



# ごみを減らしていくために～3Rチャレンジ

私たちの生活からは、かならずごみが出てきます。沖縄県では、このままでは、処分場(ごみを埋める場所)がいっぱいになると予想されています。今ある処分場をできるだけ長く使っていくためには、ごみを減らす工夫が必要です。ごみを減らす生活の方法の一つに3R(スリーアール)があります。

## スリーアール 3R

**Reduce** リデュース

☑ **ごみを減らすこと**

洗剤などはつめかえられるものを選びましょう。また、マイバッグを使って、レジ袋を使わないようにしましょう。

**Reuse** リユース

☑ **繰り返し使うこと**

こわれたものを直して使うこともリユースです。使えるけれど必要がなくなったら、他の人にゆずりましょう。

**Recycle** リサイクル

☑ **使い終わったものを資源として利用すること**

読み終わった新聞や雑誌、缶やペットボトルなどは、きちんと分別して集めてもらいます。

おつかいやごみを出すお手伝いなど、自分のできることをやってみよう！小学生ができること、たくさんあるよ！



マイバッグを使おう！



ごみを分別しよう！



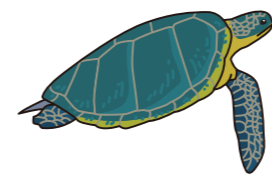
紙類を分別しよう！



他の人に使ってもらおう！

# 世界をさまようプラスチックごみ

すばらしい海を楽しむために世界中の人々が私たちの島、沖縄を訪れます。しかし、海辺でごみを見てがっかりしたことはありませんか？どうして海岸にたくさん捨てられているのでしょうか？そのごみのために、どんな問題が起こっていますか？



ウミガメさんから 3つの質問



どうしてプラスチックが たくさん作られるの？

プラスチックは軽くて じょうぶで、工場などで安くてたくさん作ることができるため、私たちのまわりのいろんなところで使われています。

どうしてプラスチックは 環境によくないの？

紙や木でできたものは、何ヶ月か何年かすれば、分解されて土に戻ります。でもプラスチックは、きちんと捨てないと、とても長い期間残ってしまいます。

このごみたち、どこから 来たのかな？

海辺には、私たちが捨てたごみだけではなく、遠く外国からのごみもたくさんあります。太平洋の真ん中には「太平洋ごみベルト」と呼ばれる、日本の倍以上もの面積にごみが集まっている場所があります。

## 「ごみを捨ててしまった」ことが、海の生きものを苦しめています



ウミガメなどの生きものが、ビニール袋をクラゲなどとまちがって食べたり、つり糸やあみにかまったりして、死んでいることを知っていますか？プラスチックの中には、体に害のあるものを含んでいるものもあります。その小さなかけら(マイクロプラスチックと呼ばれています。)を小さなエビや貝、小魚が食べてしまうので、影響が心配されています。

わかるかな？

**プラスチックごみのこと知ってる!?**

①北西ハワイ諸島のコアホウドリという海鳥の親は、海で餌を取り、(ア. プラスチックのまざった餌 イ. 魚などの本来の自然の餌)をヒナに与えて、毎年多くの命が失われています。

②太平洋に浮かぶ無人の島、ヘンダーソン島のビーチには、1日で約(ア. 100個 イ. 3,500個)のごみが流れ着いています。

答えは25ページを見てね！

引用元：南太平洋の無人島にゴミ 3800万個、日本からも (ナショナルジオグラフィック HP)